

令和 7 年度 第 1 回鶴岡市中央公民館運営審議会 会議概要

日 時：令和 7 年 9 月 3 日（水） 午後 2 時 00 分～3 時 20 分

場 所：鶴岡市中央公民館 第 1 会議室

出席者：【委 員】出席委員 9 名：梅津芳春委員、佐藤泰彦委員、前森淳子委員、
門松秀樹委員、土岐純一委員、高山千代子委員、
難波みち子委員、佐藤信弘委員、阿部麻知子委員

欠席委員 3 名：伊藤健治委員、門脇里香委員、渡部厳委員

【事務局】説 明 員 6 名：鶴岡市中央公民館館長、主査、公民館専門員、専門員

公開・非公開：公開

傍聴者：なし

1. 開 会 （事務局）
2. 委嘱状交付
3. あいさつ （鶴岡市中央公民館館長）
4. 委員長および副委員長の選出

公民館設置及び管理条例施行規則第 3 条に基づき、委員の互選により、委員長に梅津芳春委員を、副委員長に高山千代子委員を選出した。

5. 報 告

議長は同規則 3 条の 4 に基づき、委員長が行った。

- (1) 令和 6 年度第 2 回運営審議会における文化祭に関する委員意見への対応状況について
- (2) 令和 6 年度施設運営及び事業の実績について
- (3) 令和 7 年度施設運営及び事業の進ちょく状況等について

事務局より (1) から (3) を一括して説明した。

【質疑・意見等】

委員①： 中央公民館は建築後かなり年数を経ていることから、今後ますます施設整備は必要になってくると思う。現在、図書館を新築するという話があるが、複合化として中央公民館と一緒にするなど、将来的に色々な方法が考えられると思うが今の段階で何か計画があれば教えていただきたい。

事務局： 中央公民館と女性センターは 40 年を超えた施設であり、故障等が起きれば、その都度、修繕を行ってきた。現段階では中央公民館を新しくということは考えていない。中央公民館の建物は古いが非常に丈夫な建物であるため、どうすれば長く使えるか長寿命化の方向で考えていきたいと思っている。図書館の新築にあたって、さまざまなご意見があるかと思うが、中央公民館はできる限り現在の場所で続けていければと考えている。

委員②： 図書館は狭く駐車場も少ない。中心部にあるのはよいが使い勝手があまりよくない面もあり新築するということで話が進んでいるが、複合化として中央公民館を合築

するという話もあったと聞いている。中央公民館も車で行ったら駐車場が満杯で入れずに帰った人がいるという話を聞いたこともある。市内の人でも歩きや自転車で来る人は少なく、ほとんどが車で来ているようであった。市民の方々からも色々な意見があると思うが、やはり駐車場の問題は非常に大きいものだと感じている。

委員③： 地区の運動サークルに文化祭で発表しないかと提案したが、皆の前で発表するのに抵抗があると言われ、なかなか難しいと思った。それでも活動を周知しないと分かってもらえないため、続けて声かけをしていきたいと思っている。

また、地区の公民館と中央公民館を結ぶことができればと思う。例えば、映画を借りて、地区の公民館で上映したらどうかと考えているが、中央公民館では映写できる専門の人はいるのか。

事務局： 中央公民館でも以前は社会教育や学校教育などの 16mm フィルム、VHS、DVD などをそろえていた。16mm の映写の場合、平成 23 年度に解散した旧 15 市町村で構成された協議会において、映写の講習会で免許を交付していたため映写機を使える方は各地域にいる。各地域庁舎にも 16mm フィルムや映写機があり、市職員や町内会で資格を持っている方が子ども会や育成会等で映写をすることがあるようである。

委員③： ある映画を借りたいとなった場合、中央公民館に相談すれば映写できる方を教えてもらえることができるのか。

事務局： 旧協議会で免許を交付したリストから教えることも可能である。

委員③： プラネタリウムを学校で利用しているが、その際に一緒に地域の方々が参加することは可能か。最近、高齢者と子ども達のふれあいの機会をつくりたいと思っていて、学校に相談してやってみようとなった場合、中央公民館にも相談したほうがよいか。

事務局： 小学生の天文移動教室で上映しているプラネタリウムは、学習指導要領の中で決まっている内容のものを授業の一環として行っているもので、子ども達と高齢者が一緒に見たいのであれば、随時受付をしている団体投影を利用したほうがよいと思う。学校だけでなく地域や自治会での利用も歓迎している。

6. 協 議

- (1) 今後の中央公民館の事業運営について
- (2) その他

【質疑・意見等】

委員④： 先日羽黒コミセンのホールを詩吟の会で利用したが、音響が非常によいことに驚いた。多くのコミセンの音響は、講演会にはよいが歌など音楽などと一緒に声出す形式のものには適していないようになっていて、発表会の会場をどこにするかが問題になっている。中央公民館の音響があれば、他のコミセンでも発表会ができると思うので、音響設備の貸し出しを考えてほしい。

続いて、中央公民館の市民ホールの平日利用についてだが、平日に生涯学習活動している高齢の方たちが、少ない人数で限られた予算の中でも発表ができるようになればいいと思う。土日以外で平日ホールを使っている団体がどの位あるか教えてほしい。

事務局： 中央公民館の備品や市民ホールの貸し出しについては、サークルの方々を含めて検討していきたい。

平日の市民ホールの利用状況で多いものとしては、市や官公庁、老人クラブ、保育園、幼稚園の発表会などが挙げられる。見に来る方のことを考え、土日に行う団体が多い。

土日は割り増し料金となるので平日使っていただければと思っている。

委員④： 平日市民ホールを利用してはどうかとサークルなどに周知するのもよいと思う。予算のこともあるため、小規模の発表会や 1 つのサークルだけでなく複数のサークルで使えるのであれば借りたいという団体もあるかもしれない。それぞれがうまく使えるようなかたちがあれば使いたいというサークルが出てくる可能性はあると思うので、ぜひ周知してほしい。

委員⑤： 図書館の新築の話があったが、中央公民館は図書館よりも 1 年早く建ったと記憶している。地域の人が集まってこそ生涯学習が行えるものだと思うが、他の地域の公民館はコミセン化してしまったため、全市民が多く集まってできるというのは中央公民館以外にはなく、引き続き施設を活用してほしい。また、プラネタリウムは小さい子どもでも楽しめる施設となっているので、施設のよさを生かして色々な行事を行ってほしいと思う。

委員⑥： 事業報告の中で開催した講座の中からサークル化して行くという話があったが、社会教育施設として市民の文化的な活動をより活発化するため、サークル化の支援をとという話になると思うが、どんな講座を市民が求めているか、ニーズをどう調査しているのか。また、実際に要望があっても講師の手配ができないなど実施できないことあるかと思うが、実際に実施できた講座でも市民の要望とギャップがあったなど、もしあれば教えていただきたい。

事務局： 女性センターでは市民の意見として、どのような講座を希望するかのアンケート調査を行っている。ただ、アンケート対象者が講座参加者になるため、他にも職員が SNS 等などからこういったものに興味があるかを調べ、参考としている。また、講師の選定にあたっては、実際に指導している人やマルシェなどの主催団体へ相談し選定しているほか、防災講座では市の地域防災アドバイザーを講師に招いたり、料理教室では各地域で活動している食生活改善推進協議会から協力してもらうなどして実施した。

5 年後 10 年後を見据えると若い方々にも中央公民館を利用してほしいという思いもあり、市民のニーズの把握に加え、若い方から高齢の方まで参加してもらえるよう夜間や休日など開催時間や曜日を工夫するなど、色々試行錯誤をしながら講座を実施している。

委員⑦： 中央公民館を何年も利用している。令和 6 年度に身障者用トイレの改修工事を行ったようだが、市民ホールの楽屋トイレ便座が冬に冷たいため、改修工事を行う予定はないか。

事務局： 楽屋トイレは令和 6 年度に温水洗浄便座に改修している。

委員⑦： 先ほども話に出たが、図書館と中央公民館の複合化を希望している。山形市の遊学館は、1 階はレストラン、2 階は図書館、3 階はホールとして、市民が集える空間となっていた。中央公民館へ何かを見に行くだけでなく、食事をして皆が集まる場所が

できたらいいと思った。

委員⑧： 各地域でもそれぞれ生涯学習講座を実施しているが、中央公民館の講座では、鶴岡地域以外の方がどの程度参加しているのか知りたい。以前、女性センターで鰯汁の男性講座があり、申し込みをしたが都合で行けなかった。旧町村からも参加者を引っ張っていただければありがたいと思う。

事務局： 中央公民館と女性センターでは対象が異なり、中央公民館は鶴岡市に在住か勤務している方が対象で、女性センターは庄内南部定住自立圏事業の取り組みの 1 つとなっていて、三川町、庄内町に在住か勤務している方も受講できるため広く募集している。色々周知はしているが旧町村地域でも講座を行っていることもあり、当該地域からの参加者は鶴岡地域と比べ少ない。

なお、中央公民館、女性センターともに受講者の統計は行っていて、詳細な資料は今手元にはないが、女性センターでは、鶴岡市内の各地域の他にも三川町、庄内町、また男女比などの統計を取っている。女性センターの中での男女割合は、おおよそ 2 対 8 で女性の参加が多いが、男性も 2 割は受講しているので、男性がより参加しやすいように男性料理教室では、そば打ちや丼物、お酒のつまみなど毎年テーマを変えている。ほかにも男性が興味を持ちそうなものということで、昨年秋にドローン講座を実施したが、結果として女性の方が多かったということもある。多様性の時代であり、皆様がどんなことに興味を持っているのか幅広く模索していく必要があると思っている。

委員①： ドローン講座は確かに女性の方が多いなと思っていた。開催時間が夜間となっているが室内で実施したのか。

事務局： 専門の先生からドローンの知識を教えてもらい、女性センター2 階の広い会議室で行った。参加者から続けたいとの声があり今年度サークルとなったが、季節によっては女性センターを使いたいという要望があり、できる限りの支援は行っているところである。

色々な講座があるので、広報やチラシ、以外にもインスタグラムなど SNS での発信にも力を入れていきたいと思っている。

7. そ の 他

8. 閉 会